



6月後半、今週は蒸し暑い日が続きました。依然として新型コロナウイルス感染症への対策は必須ですが、熱中症も心配されることから、保健体育の授業や部活動などでは、マスクをはずすことを原則として活動しています。

さて、いよいよ明日から修学旅行です。一昨年は中止、昨年は2度の延期を経て11月の実施となりましたが、今年度は予定どおり実施できる見込みです。新型コロナウイルス感染症や熱中症など対応を適切に行いながら、健康で事故なく有意義な修学旅行となるよう指導していく考えです。

◇今年度も「地域部活動推進事業」に取り組んでいます

「地域部活動推進事業」の取組が今年度も始まりました。取組の概要は、4月末の全校保護者会で説明したとおりですが、今年度も休日に活動する部活動については、月2回程度「地域部活動」として実施する予定です。

活動は5月からですが、市・県春季体育大会や定期テスト前の部活動の休止などがあり、本格的な活動はこれからとなります。そのため、本来は地域指導者(たぬまアスレチッククラブの指導員として登録された方)のみで指導にあたる「地域部活動」ですが、地域指導者への指導内容等の確実な引継ぎのため、先週末に「地域部活動」として実施された部活動の多くは、各部の顧問(教員)と地域指導者が一緒に指導を行いました。

ところで、国(文部科学省)の方針では、令和5年度以降の休日の部活動を段階的に学校から地域に移行する予定です。そこで本校では、来年度以降を見据えた「地域部活動」の実践を通して、生徒にとって望ましい指導が実現できるよう、教員の負担軽減を図りながら研究実践に取り組んでいきます。

※先週末の活動の様子から



◇文化庁主催「子供のための文化芸術鑑賞」

6月21日(火)、文化庁主催の「子供のための文化芸術鑑賞」が本校体育館で開催され、全校生徒が学年別にノンバーバルパフォーマンス*を鑑賞しました。 ※ノンバーバルパフォーマンスとは、言葉を必要としない表現による公演のこと

今回は、東京都府中市にある公演団体「蒼い企画」により特別に編成された4組の皆さんによる公演でした。

以下は、文化庁資料から今回の演目の紹介です。

○演目：ノンバーバル ～日本を代表するクラウン（道化師）によるショータイム
○ものがたり&作品のイメージ

日本では馴染みの薄いクラウン（道化師）ですが、この作品はそれぞれの身体表現の達人たちによる、個性豊かなノンバーバル（非言語コミュニケーション）パフォーマンスです。

YEN TOWN FOOLs のびりとブッチィー、音楽的道化師ましゅ & Kei、パントマイムシアター座長の山田とうし、ひとりミュージカルのなっちゃん（王子菜摘子）の4組によるクラウニング、パントマイム、ダンス、マジック、歌、ジャグリング、楽器演奏などは言葉を超えて、心暖まる笑いと感動を届けます。

全国のシアタークラウンフェスにも参加し、大きな反響を得ているメンバーによる、特別バージョンの公演です。

感染症対策で密を避けるため、今回は学年別に3回公演を行っていただきました。コロナ禍の中、このような公演を鑑賞する機会は少なく、生徒たちにとっては大変貴重な体験となりました。

各パフォーマーの皆様、素晴らしい公演をありがとうございました。そして公演を企画して下さった「蒼い企画」の皆様、さらには文化庁のご支援にも深く感謝いたします。



◇コンクリート塀の付け替え工事完了

6月16日(木)、校庭東側、東武鉄道線路沿いの道路に面したコンクリート塀の付け替え工事が完了し、新たにネットフェンスが設置されました。

従来の塀はコンクリートの塀でブロック塀とは異なりますが、大きな地震が発生した際は倒壊の心配がありました。

大地震はいつ何時発生するかわからないものです。万が一に備え、工事していただいたことに感謝いたします。

